

朝の7時の飛行機でイタリアのミラノ・リナーテ空港を出発して経由地のフランクフルト空港へと向かった。フランクフルト空港で乗り継ぐ際にシェンゲン協定から出国するための手続きをすることを失念しており、出国手続きでモタモタしてしまう等またもや不安な出発…。手続きをしてくれた職員が日本人で「初めてアメリカに行くのですか？」等気に掛けていただき少し落ち着くことが出来た。入国審査について日本人職員に質問したところ、「トランプ政権になってから少し厳しくなった」と教えていただいたため、飛行機の中でも入国申請の受け答えの練習をしており、気付くとサンフランシスコ国際空港に到着していた。

入国までは噂通り長蛇の列で1時間程並び、入国申請した。入国申請のために様々な質問をシチュエーションして練習していたが、「滞在先」「入国目的」「滞在日数」「所持金」のみ聞かれ、「あんなに練習したのに！」と少し気が抜けてしまった。入国後無事に換金してホテルにも到着し、一安心することが出来た。



平日は8:30～16:30まで毎日コスモスモンテッソーリで研修させていただいた。モンテッソーリの理念や大人の動きや考え方に関して学ぶことが出来た。研修の中で感情の入れない内部監察を行うよう言われたのだが、子どもの動きに対して推測をしながら内部監察してしまう癖がなかなか抜けず、何度もガイドのみほ先生に相談させていただいた。

適切な内部監察を行うことで子どもが求めているお仕事に気付いたり、適切な場で介入出来ることを教えていただいた。みほ先生にモンテッソーリ教育のおすすめの本やインクルーシブについての絵本等たくさん教えていただいた。コスモスモンテッソーリでは子どもが自身の興味のあるお仕事を真剣に行ったり、大人の言葉掛けが会話のように静かでゆったりとした時間が流れていた。学んだことについては報告書にて記載する。また、研修最終日にはガイドたちと一緒にディナーに行かせていただいた。心優しいガイドたちに出会えたことに感謝し、今後の研修も頑張ろうと思うことが出来た。



休みの日には Fisherman's Wharf や PIER39 に行ったり、サンフランシスコ名物のケーブルカーに乗った。PIER39 ではたくさんのアシカを見たり、探索をしたりと雰囲気を楽しんだ。PIER39 では名物のクラムチャウダーを食べた。PIER39 は港で風が強風でとても寒かったので温かいクラムチャウダーが体に沁みた。ケーブルカーは1番人気のパウエル・ヒイド線に乗った。たくさんの坂を超えていくのだが景色を見るのと坂の上り下りのためバランスをとるのに忙しかったが、ジブリのハウルの動く城のような幻想的な時間を過ごすことが出来た。

滞在しているホテルが LGBTQ の方が多く住まわれている地域で、カストロ通りは特にレインボーカラーであった。様々な方に出会って多様性に触れることが出来たものの、道路で全裸の同性愛カップルが歩いている時には日本で見られない光景に驚いた。アメリカでは毎月目標があり、6月から LGBTQ のプライド月間となるので盛り上がりを見せており、そのような姿も受け入れられる、自由な国アメリカに在ることを実感させられた。



次訪問する都市はロサンゼルスであるが、コスモスモンテッソーリの先生方からサンフランシスコと比にならない程の紫外線量と気温が36℃程まであがるので注意した方が良いという貴重な情報を聞くことが出来た。

私は北海道に住んでいて最近の夏は暑いと感じることが多いが36℃の夏が毎日続くことはないため少し不安な要素が強いが、なかなか経験できないことなので体調に引き続き注意しながらたくさんの学びや出会いに期待感を膨らませてロサンゼルスに向かおうと思う。